

# 学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



南門付近のピンク色のバラ

## ☆☆☆ 1年間の折り返し ☆☆☆

6日(金)で前期が終了し、連休明けの10日(火)より後期が始まりました。後期始業式では、児童代表の3年生関口実来さんが、後期にがんばりたい「算数の筆算」や「そろばん」「習字」について、作文の発表をしました。しっかりとしたためてに、皆で拍手を送りました。



次に、私が夏休みの研修で学んだ「請戸小学校物語」のDVDをみんなで見ました。この話は、福島県の浪江町にある「請戸小学校」が2011年3月11日の東日本大震災のときに実際にあったお話です。請戸小の児童と教職員は津波から逃れるために「大平山」に逃げました。大平山の山道を案内してくれたのは4年生の子供、そして寒く暗い夜道を歩く子供たちをトラックに乗せてくれたトラックの運転手。全員無事、町の体育館に避難できました。この話から、心に残ったことや学んだことなどの感想を全員に書いてもらいました。この吉田東小でもどんな災害や危機に遭遇するか、分かりません。先日は、「ミサイル飛来におけるJアラート対応について」児童に説明し、保護者や地域の皆様にもお知らせをしました。日頃から危機意識を高めて、自分の命を守るための行動を自分で判断して、速やかに避難行動ができるように指導していきたいと思います。御家庭でも、避難の仕方について話し合っただけであれば幸いです。地域の方々も、子供たちの安全確保のための御協力をお願いします。

後期も、「生き生き学び笑顔あふれる吉東小」を目指してがんばります。御理解御協力をお願いします。

## がんばった運動会の思い出

感動の運動会の思い出を表現した子どもたちの作文を紹介します。

- ・ 「全員リレー」で友達にバトンを渡すのをがんばりました。お父さんとお母さんに「一等賞を取ったね。」とほめられました。うれしかったです。また、がんばろうと思いました。(1年S・K)
- ・ ぼくの運動会のめあては、「代表リレーをがんばる。」でした。本番では2位になりました。ぼくは一生懸命走りました。みんなも一生懸命走っていました。白はちまきは3位になりました。「やったぁ。」とみんなで喜びました。楽しい運動会でした。(2年U・K)
- ・ 運動会で心に残った演技は2つあります。一つ目は「組体操」です。特に6人技のピラミッドは6人の力と気持ちを合わせたので、成功しました。二つ目は「代表リレー」です。ぼくは1番でバトンをもらい、全力で走って1番のまま次の人に渡しました。ぼくたちのチームが勝ちました。白組が優勝したので、わくわくの運動会になりました。(3年U・T)
- ・ 運動会でがんばったことは「鼓笛隊」です。4年生は初めてだったので不安だったけれど、間違えずに弾けました。来年は違う楽器ができるので、とても楽しみです。また、「全員リレー」も力を合わせてがんばりました。始めは4位だったけれど、次々に抜かして、最後は1位になりました。赤組は負けてしまったけれど、楽しかったです。(4年Y・K)
- ・ 運動会でがんばったことは、「障害物走」です。私は走ることが苦手なので、水をこぼさないように速くゴールするにはどうしたらいいか、考えました。少し遅めに慎重に走りました。でも、ミニハードルで水がこぼれてしまったので、もっとそこを考えれば良かったと思いました。また、「全員リレー」もがんばりました。最初抜かされてしまいましたが、他のみんなががんばってくれたので良かったです。(5年S・K)
- ・ 運動会で一番思い出に残ったのは、「応援合戦」です。ぼくは今年白組の団長になりました。だから、自分の力で白組を盛り上げようと思いました。他の応援団のみんなも手伝ってくれました。応援も得点に入るので、真剣にやりました。3、4、5年生と負けてきたので、今年は絶対勝ちたいと思いました。今年は勝てたので、うれしかったです。(6年K・A)

# おじいちゃん おばあちゃん ありがとう 「人は人によりて人となる」

10/5(木) 祖父母参観を行いました。全部で68名の参加者でした。多くの参加に感謝いたします。

1・2年生は、「昔遊び」。なかよし館でお手玉やかるとなどを、校庭で竹馬、コマ回しなどをおじいちゃんやおばあちゃんに教えてもらいながら、楽しく遊びました。3・4年生は「わらでっぼうづくり」。体育館で、おじいちゃんやおばあちゃんからわらのしぼり方や切り方などを教わり、一生懸命に作りました。10月の十三夜に使えます。5・6年生は「あんぎんづくり」。埋蔵文化財センターの方々の御指導のもと、みんなで挑戦しました。簡単なようでなかなか難しい！ようやく完成すると、大満足。一緒に楽しい時間を過ごした笑顔が、とても素敵でした。子供たちのために御指導いただき、ありがとうございました。本校の子供たちの落ち着きややさしさは、このように家庭の愛情をたっぷり受けて育てている証であることを実感したひとときでした。



初挑戦「あんぎん」  
難しいけど、おもしろい



おじいちゃんと力を合わせて  
「わらでっぼう」



おばあちゃんに教わったら、  
できたよ「お手玉」

子供たちは、家族や地域の方、友達、先生に支えられ、関わり、大きく成長していきます。社会福祉学が専門のヘネシー澄子さんの話から、「愛着を深める行動」を紹介します。

## 「愛着を深める行動」

(ヘネシー澄子)

子供の目線の高さで、子供の目を見ながら話す。  
子供の笑顔必ず答える。(互いに微笑み合う)  
子供を抱く。抱き合う。(年齢に合わせて)  
優しく、軽く、体に触れる。(学童、青少年は、肩や二の腕、背中)  
語りかけるときは、明るく静かに。言わなくてもいいことは言わない。  
お説教ではなく、質問形式に。  
子供が自他の危険にさらすことをしたとき、行動を描写しきっぱり論ず。  
子供が子供が言うことを聞いたら、「ありがとう」を忘れずに。  
子供が良いことをしたら、その行動を描写し褒める。  
子供が自分の誇りであることを伝える。(言葉で、行動で)



この文を読むと、我が子の子育てや毎日の子どもたちとの関わり方を振り返り、反省することしきり。いつの時代でも子どもたちの未来は輝いていなければならないと思います。大切なお子様をお預かりしている我々は、子どもたちの未来を信じて、教職員全員が吉東小「教師の合言葉」…「認めて 褒めて 励まして 信じて 待って見届ける」を心掛けて実践していきます。御家庭でも実践していただけたら、幸いです。



## 吉東小フェスティバルのお知らせ



11月3日(土) 8:50~10:40(場所:各教室、体育館など)

今年は、地域ボランティアの方たちと「親子体験学習」をします。「お琴」や「英語」など、11個の体験学習から児童が2つの体験を選びます。そこに、保護者などにも入っていただき、一緒に学習します。16名ぐらいのボランティアの方たちに、本校児童のためにそれぞれの得意分野で御指導いただきます。どんな「親子体験学習」が展開されるか、楽しみです。

10:50~11:30「サクス」演奏会、11:50~12:05「学校支援ボランティア感謝の会」、11:35~12:30PTAバザーも実施します。

保護者の皆様はもちろん、おじいちゃん、おばあちゃん、地域の皆様の御参加をお待ちしております。



# 学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



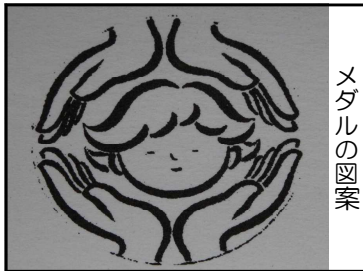
秋の彩り  
ムラサキ  
シキブ



## 下野市児童表彰式～卒業を感じ次のステージへ～

17日(火) 広瀬寿雄市長様や池澤勤教育長様、6年生の保護者等が来校し、下野市児童表彰式を行いました。これは、市内すべての6年生を対象に、表彰を通じて、「一人一人の優れたところや良いところを見いだして、児童に自信と誇りをもたせ、健全な心身の発達を助長すること」を目的とする表彰式です。

広瀬市長様から、一人一人と握手を交わしながら、下のような本校の卒業生である彫刻家の宇賀地洋子さんがデザインした銅製のメダルが、池澤教育長様から、一人ずつ表彰状が授与されました。7部門における表彰は、明朗賞(伊澤大輝さん・小室碧大さん・ナディアさん)、親切賞(添野真さん・山崎晟那さん)、友情賞(杉山煌さん・野澤成仁さん・横島陽平さん)、努力賞(和泉乃愛さん・上野ひよりさん・慶野愛貴さん・菅原拓海さん)、学芸賞(市岡杏菜さん・海老原耶々さん)、体育賞(海老原智陽さん・笠倉佑太さん・高橋洋介さん・鶴見将吾さん)です。将来、市長さんから違う色のメダルをいただけることを期待しています。



メダルの図案



9/26(火) 4・5年生が「認知症サポーター講座」を受けました。下野市地域包括支援センターの方たち3名により、「日本の高齢化と認知症」「認知症とは何か」「認知症の人を支える」について、劇などを交えながら教えていただきました。今後の高齢化社会に向けて、「認知症」の正しい理解と対応が、小学生にも求められています。



毎月第3金曜日は「アルミ缶回収」の日です。PTAの事業部(バザー)12人が中心となって、回収や除草作業をしてくださっています。今月は13日でした。毎年、アルミ缶やPTAバザーの収益金でマットなどを購入させていただき、環境美化・整備に役立っています。これからも御協力をお願いします。



9/27(水) 理科室から火災が発生したという想定で、避難訓練を行いました。今回は昼休みに実施。子供たちが自主的な避難(あわてずに安全な行動)ができることをめあてにしました。事前指導でも、訓練の日時は知らせません。避難開始の合図から2分ほどで、すみやかに避難できました。すばらしい判断と避難行動でした。



## 保護者や教師が読む姿を



2年前から始めた毎週金曜日の「家読」。御家庭では習慣化してきたことと思います。読書は豊かな想像力や心の育成はもちろん、学力向上にもつながります。10/16～28まで「校内読書旬間」です。読書の楽しさや充実感を味わわせるよう、さらに工夫しています。

どうすれば子供たちが読書に親しむようになるのか。9/13の読売新聞にこんな記事が載っていました。「周りの大人がスマホやテレビを見ているのに、子供にだけ本を読めというのは説得力がない。保護者や教師が本を読む姿を見せること、本に触れる機会をできるだけ多く作ることが大切だ。大人が子供の前で読書を楽しむことで、子供は興味を引かれるだろう。多忙で時間がないなら、子供が読みたい本を買ってあげるのも良い。」御家庭でも読書の環境づくりに御協力をお願いします。例えば、大人や兄弟による本の読み聞かせ、大人も一緒に読書する、子どもの身近なところに本を置くなど。テレビやスマホ、ゲームなどをやめて本の世界にひたる雰囲気づくりが大切です。



## 6年生 ゲームやスマホをやりすぎ？



6年生が4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果について、お伝えします。

### <学力調査>

- ◎「国語A（知識）」は「国語B（活用）」より、正答率が高い。
- ▼「国語B」では、「複数の文章から必要な情報を読み取る」「考えの根拠となる叙述を読み取る」「目的や意図に応じて文章を書く」に課題が見られる。
- ◎「算数A（知識）」は「算数B（活用）」より、正答率が高い。
- ▼「算数B」では、「二つの数量の関係を言葉や数を用いて説明する」「示された方法を他の場面に適用する」「示された方法を解釈して、言葉や式で説明する」に課題が見られる。
- ▼国語、算数ともに全国平均より下回っている。

### <学習状況調査>

- ◎「学校が好きで、友達と仲良く過ごしている」「地域行事に良く参加し、地域の方とふれ合っている」「宿題をきちんとやり、読書が好き」など、好ましい傾向が見られる。
- ▼「自信がなく、未知のものへのチャレンジ精神が低い」「ゲームやスマホの時間が長い」「携帯やスマホの約束をあまり守っていない」「将来のことを家族で話し合っていない」などでは、課題が見られる。

### <改善策>

- ・基礎基本の定着と「読み」「書く」の力を伸ばすために、教師の授業力を向上させるとともに、家庭でも「家庭学習4か条」を守ってもらう。
- ・「朝読」「家読」の効果が見られる。今後も「家読」をさらに充実させるためには、家庭の協力が欠かせない。「家読発表会」もマンネリ化しない工夫をする。
- ・実態に合わせた「情報モラル教育」を行い、情報に対して適切な判断ができる子供を育てる。また、家庭でもゲームやスマホの約束を決めて守るとともに、家庭での会話の時間を増やし、良さがんばりをさらに褒めてもらう。

## ☆ ☆『特別支援教育』って？ No5 ～発達障害とは？～ ☆ ☆

文部科学省の2012年の調査によると、通常学級に在籍する児童・生徒の中で、発達障害の特徴を示す子どもは全体の約6.5%という結果になりました。これは、診断を受けている子どもの数ではありませんが、その特徴を示す子どもが約15人に1人の割合にいるということになります。発達障害と一言でいっても、種類はいくつもあります。主なものを簡単に紹介します。

\* 広汎性発達障害（自閉症・アスペルガー症候群・レット障害・小児期崩壊性障害の総称）

→ コミュニケーションと社会性の困難さを特徴とする障害

\* 注意欠陥・多動性障害（AD/HD）

→ 言動に不注意・多動・衝動性の症状が複数見られる障害

\* 学習障害（LD）

\* 知的障害

→ 知的障害には問題がないが、「聞く」「話す」「読む」「書く」

→ 知的な発達の遅れがある障害

「計算する」の特定の学習が極端に困難な障害

☆☆ 受賞 おめでとうございます ☆☆

◎日光杉並木マラソン大会 3km女子 準優勝 6年 海老原耶々

◎県小学生優秀選手陸上大会 1000m男子 準優勝 6年 海老原智陽

お知らせ：吉田東小 学校だよりはホームページでカラー版を御覧いただけます。

学校行事や各学年の活動も随時配信しております。御意見、御感想など

ありましたら御連絡ください。

